

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況（8 月分）について

2026 年 8 月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

（単位：千円）

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	15,110,059	14,059,265	107.5%
国内旅行	11,455,500	10,908,888	105.0%
訪日旅行	472,601	418,373	113.0%
合 計	27,038,160	25,386,526	106.5%

【概況】

8 月の営業概況は、総取扱高 270 億 3,816 万円、前年同月比 106.5%となりました。

海外旅行市場においては、2026 年 8 月の出国日本人数が前年同月比で 96.4%にとどまり、2 か月連続で前年を下回るなど、停滞感が見られます。

このような状況の中、当社では夏季休暇の旅行ニーズが見込まれるアジア方面やオーストラリアの個人旅行商品に注力したほか、アメリカ、カナダの周遊型旅行の募集告知を強化しました。また、モンゴルや中央アジアなど夏季に需要が活性化する方面の商品開発に取り組みました。その結果、アメリカ、カナダの取扱高が前年を上回ったほか、韓国、台湾などのアジア圏、およびオーストラリアも好調に推移しました。さらに、モンゴルやウズベキスタンの集客も大きく伸長しました。

8 月の海外旅行の取扱高は、151 億 1,005 万 9 千円、前年同月比 107.5%と、前年を上回る結果となりました。

国内旅行市場においては、観光庁が発表した宿泊旅行統計調査(第一次速報)によると、2026年8月の日本人延べ宿泊者数が前年同月比で94.2%となり、需要の停滞が続いています。

このような状況の中、当社では国内旅行の需要拡大に向けて、全国で開催される夏祭りや花火大会を組み入れた商品や、ベストシーズンを迎えた北海道を中心に販売強化に取り組みました。その結果、東北の夏祭り・花火大会を観光する旅行商品や、旅行期間が4日間以上のゆとりある行程を組んだ「北海道周遊ツアー」が前年比2割増と大幅に伸長し、取扱高を牽引しました。

8月の国内旅行の取扱高は、114億5,550万円、前年同月比105.0%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	2,758,466	2,551,470	108.1%
国内旅行	218,406	202,720	107.7%
訪日旅行	0	13,865	—
合 計	2,976,872	2,768,056	107.5%

【概況】

8月の営業概況は、総取扱額29億7,687万2千円、前年同月比107.5%となりました。

海外旅行は、業務出張が堅調に推移したことにより、取扱高は前年同月比108.1%となりました。

国内旅行は、業務出張および企画旅行がともに好調で、取扱高は前年同月比107.7%となりました。

2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	17,643,460	16,273,184	108.4%
国内旅行	11,630,930	11,072,097	105.0%
訪日旅行	472,601	432,238	109.3%
合 計	29,746,991	27,777,519	107.1%

※2社間の取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724